



**SORAK Development Agency**  
Registered NGO: No:8726

UEB Zone ,Church Road –Mullago;P.o Box, 71883 Clock Tower –Kampala;Tel:+256 703515225  
Mubende Office: Lusaira T/C, 16km from Mubende Town along Mubende –Fort portal Road



NPO法人グローバルブリッジ ネットワーク  
**Global Bridge Network**

## 生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業 (ウガンダ共和国)

活動期間：2019年4月～12月

活動： エンデベ・キウルウェ村のコミュニティを支援している **Hope For Future** と協力し、  
貧困地域の女性を対象に生理用布ナプキン作成のトレーニングを実施した。

### 日時と場所

	日時	場所
1	2019年8月20日	キウルウェ、エンデベ

### はじめに

SORAK は Global Bridge Network から支援を受け、エンデベ県・キウルウェ村にある僻地のコミュニティを支援している **Hope for the Future** と協力し、2019年8月に生理用布ナプキン作成トレーニングを実施した。

女性の月経時における衛生管理を改善する事、また学校に通う女子が生理が原因で中退してしまう問題を解決する事を目的とし、女子の就学率を改善していく事を長期的な狙いとした。このような貧困のコミュニティが抱える問題に取り組むために、下記の目的に則してトレーニングを実施した。

### 活動目的

- 1.対象地域の女性たちに、自分達が使う布ナプキンを作成する技術を習得させること。
2. 学校に通っていない女子や未成年に、月経時の衛生管理について周知していくこと。
3. 月経時の衛生管理と布ナプキン作成方法について、信頼できる情報源から正しい知識を得られるようにすること。
4. 布ナプキン作成方法を学ぶ事で、女子たちが月経時に学校を欠席する事をなくし、通年学校に通えるようにする。男子と同じ教育を受けられるようになることで、性別による教育格差が是正されること。

### 背景

キウルウェ村はエンデベ県に位置する僻地の貧困コミュニティで、そこに住む女性・女子は月経時に適切な衛生管理についての知識がない。今回、SORAK と共に、地域の女性に布ナプキン作成方法を教える事で、この問題に取り組む。

本活動を通して、参加者は布ナプキン作成方法の技術を習得し、月経時に布ナプキンを使えるようにすることで、それまでは月経時に授業を欠席していた生徒達の自信回復に繋がった。

## 参加者

参加者の年齢・就学状況については添付（末尾のページ）を参照。

場所	男性/他	女性/他	合計
キウルウェ初等学校、エンデベ	1名	48名	49名

## ファシリテーター

1. ムハンマド・ケユン：SORAK 代表
2. ナルワンガ・シャミン・ゴンベ：SORAK プロジェクトマネージャー
3. バビレ・マリア・ゴレット：プロジェクトアシスタント

## 活動

下記の通り活動を実施した。

1. SORAK と Hope for future の代表による挨拶。
2. 布ナプキン作成に使う材料の種類や、採寸方法について参加者に教える。
3. 参加者を二つのグループに分けて、実際に生地を採寸を行う。
4. 裁断した生地を縫って布ナプキンを作成する。
5. 各グループから最も優秀な参加者に、SORAK の生理用布ナプキン「Happy Pad」とその材料をプレゼントした。



SORAK と Hope for the future の代表から挨拶。



SORAK のファシリテーターが、フレームをつくるため、材料の採寸を実践させてみせている。



参加者がフレームの採寸をしている。



フレームを裁断し、縫い合わせて布ナプキンを作成している。



最も優秀な参加者に SORAK ハッピーナプキンをプレゼント。



トレーニング終了後に集合写真を撮影。

## 成果

1. 参加者は布ナプキンを作成する作業に喜んで取り組み、今回のプロジェクトに対して非常に熱心に向き合っていた。中でも、布ナプキン作成をビジネスとして取り組む意思を示す者に関しては、作成したナプキンを販売したり、他の女性に対してトレーニングを実施する等、さらに上の段階を目指せる可能性がある。
2. トレーニング終了時に、参加した女性達がとても欲しがるとも意欲的に取り組んでいた。
3. 最も優秀な参加者には SORAK の生理用布ナプキン「Happy Pad」がプレゼントされ、またビジネスとして取り組む姿勢を示した参加者には布ナプキンの材料が渡された。
4. 参加者は布ナプキン作成のトレーニング終了後、ナプキンの正しい使い方を学び、また衛生管理について勉強する事ができた。
5. もし材料やミシンが支給され、布ナプキン作成に必要な環境が整えば、今回技術を習得した参加者により布ナプキン作成を事業として収入を得る事も可能になる。

## 主な課題

1. 本活動の同日にコミュニティ内で開催している他の活動と重なってしまい多少の支障が出たが、参加者の出席を何度も確認することで予定していた参加者が全員参加できた。
2. 参加者の非識字率が高く、研修内容を理解するのに時間がかかる者もいたが、ファシリテーターが個別に対応し、繰り返し学習をしてフォローした。
3. 今後、女性達が自立して布ナプキン作成を継続していく事が課題となる。本活動に充てられる資金が限られているのにも関わらず、ナプキン作成の道具が今後も提供されると期待している女性達が多かった。
4. 布ナプキン作成を十分に習得するためには数日を要するので、今回のトレーニングの時間は短すぎた。
5. 今回の研修内容は、文字が読めない参加者にとってはすぐに理解する事が難しく、よりと時間が必要だった。

## 提案

1. 今後のトレーニングでは、参加者が研修に集中できるように地域外の会場に変更するべきである。今回の会場では、普段スラム地域の子供達は何日も食べる物が無いまま過ごす事があるので、今回のトレーニング時に提供される食事を求めて集まってしまい、子供の一人が調理中の食べ物を取る際に火傷をしてしまった。
2. より多くの女性や女子に同様の研修を実施できるように、トレーニングの機会を増やして欲しいと参加者から提案があった。
3. 本活動を持続可能なものにするために、キウルウェ・エンデベにおいて、布ナプキン作成と普及の活動を行える決まった場所を早急に確保する必要がある。

## Hope For The Future からのフィードバック

Global Bridge Network から支援を頂き、今回 SORAK がトレーニングをしてくれた事によって、僻地のコミュニティの女性・女子は初めて布ナプキン作成について知る事ができた。また、彼女達はこのような体験ができた事を喜び、積極的に学ぶ姿勢を見せていた。

今回布ナプキン作成方法を学んだ事によって、女性たちは有益な知識を習得する事ができた。彼女たちはプロジェクトに参加できた事を嬉しく思い、感謝していた。

この活動を続けていけば、女性たちの月経時の衛生管理は確実に改善していくと感じているので、プロジェクトを継続して実施していきたい。従来のように、生理用ナプキンを買うお金がないと困る事がなくなるので、女子達は自信をもって学校に行けるようになる。また、今回作成方法を教わった布ナプキンは安価で、使いやすかった。

コミュニティの女性・女子のため、また我々の団体としても布ナプキントレーニングを続けていきたいと考えており、そのために女性を二人雇用する計画である。一人は資金獲得のため、作成したナプキンを販売してプロジェクトを支え、もう一人は他の女性・女子に布ナプキン作成・販売について訓練を実施し、女性たちが自立できるように支援していく。

今回は約 49 名がトレーニングを受ける事ができたが、より多くの人に参加する事ができれば、女性・女子の月経時の衛生管理は改善し、またナプキンを販売して資金を得る事ができれば、家族を養う資金を得る事も可能になる。

## 結論

今回のトレーニングは有益な内容であったため、総じてワキソ県・キウルウェの女性に快く受け入れられた。ビジネスとして本プロジェクトを続けたいと発言する者もいれば、ナプキンを自分用に作るだけでなく、今回のトレーニング参加できなかった女性にも布ナプキン作成方法を教えると約束した者もいた。

一方で、この地域の女子は他にも問題を抱えており、児童婚、生活のために行う売春、失業、学校に通えないなど、課題は多く残っているが、小学校・中学校に通う女子の月経時の衛生管理を改善し、学校からの中退を防ぐためワキソ県・キウルウェのコミュニティのために資金援助をしてくれた **Global Bridge Network** に感謝している。地域内で今後も活動を続けていくということなので、上記で述べた生理が原因で中退する女子の数は減少するであろう。

**HOPE FOR THE FUTURE MINISTRIES IN PARTNERSHIP WITH SORAK DEVELOPMENT  
AGENCY SANITARY PAD TRAINING FOR KIWULWE VILLAGE ON 20<sup>TH</sup> AUGUST 2019**

**ATTENDANCE LIST-FACILITATORS**

<b>NO</b>	<b>NAME</b>	<b>ORGANIZATION</b>
1	MUHAMMED KYEYUNE	SORAK
2	NALWANGA SHAMIM GGOMBE	SORAK
3	BABIRYE MARIA GORRET	SORAK
4	KOMUJUNI DOROTHY	BOARD MEMBER
5	NINSIIMA DIANA	DIRECTOR
6	ATUHAIRWE CAROLYNE	SECRETARY
7	KYOMUGISH AGNES	TREASURER

**ATTENDANCE LIST-TRAINEES**

<b>NO.</b>	<b>NAME</b>	<b>AGE</b>	<b>EDUCATION STATUS</b>
1	BABIRYE FLORENCE NASSANGA	14	School goer
2	NALWESYISO SAUDA	24	Not Applicable
3	NABAKEMBO LAILA	20	Not Applicable
4	NAKAYEMBA JACKIE	20	Not Applicable
5	NALUGO JUSTINE	31	Not Applicable
6	OZEYE PATRICIA	25	Not Applicable
7	NAMANDE VALERIA	22	Not Applicable
8	NAMUSAZI JOAN	20	Not Applicable
9	KABATORO JUSTINE	36	Not Applicable
10	BYOGERO FLORENCE	32	Not Applicable
11	NAMIREMBE VICTO	11	School goer

12	NANJERU HADIJAH	13	School goer
13	NANSUBUGA GRACE	9	Drop out
14	NAMULINDWA ALIA	13	Drop out
15	NANKATO NOEL	14	School goer
16	NALUNKUMA REGINA	32	Not Applicable
17	KATASI REBECCA	23	Not Applicable
18	NALUBWAMA RAZIA	42	Not Applicable
19	KARUNGI TRACY	21	Not Applicable
20	NAKATO NOELINE	18	Drop out
21	NALUBOWA BABRA	17	School goer
22	BABIRYE ZOUENA	23	Not Applicable
23	NAKANWAGI PROSCOVIA	40	Not Applicable
24	NABAKOOZA DEBORAH	20	Not Applicable
25	NAMALA AISHA	18	School goer
26	NAKABIRWA RUTH	12	School goer
27	NALONGO DOREEN	33	Not Applicable
28	NANKYAZI FARIDAH	27	Not Applicable
29	NAMUGENYI MARY	20	Not Applicable
30	AGABA EMILY	19	Drop out
31	TUMURANZE LOVENCE	35	Not Applicable
32	NANYONGA GORRET	40	Not Applicable
33	SSEKIKONGO MARY	51	Not Applicable
34	KAITESI PATIENCE	36	Not Applicable
35	NAMUBIRU ANGELLA	28	Not Applicable

36	NALUKWAGO KATE	37	Not Applicable
37	ASASIRA FORTUNATE	26	Not Applicable
38	ESTHER ATYENO	29	Not Applicable
39	NASASI ESTHER	38	Not Applicable
40	MUTONI CHRISTINE	33	Not Applicable
41	NAMUTEBI GETRUDE	41	Not Applicable
42	KATUSHABE EVELINE	30	Not Applicable
	<b>SUMMARY(EDUCATION)</b>		
1	Drop outs	4	
2	School goes	7	
3	Not applicable	31	
	<b>Total</b>	<b>42</b>	